

報道関係各社 各位

2014年3月18日

※このリリースは複数の部署にお送りしています。

倭国（日本）の記述もある6メートル大の貴重な史料
高句麗の好太王碑拓本を一般公開
3月19日、20日の2日間、明治大学中央図書館で実施

明治大学日本古代学研究所は、中国社会科学院との国際共同研究プロジェクトの一環として、高句麗・好太王の石碑4面の拓本を3月19日と20日、明治大学駿河台キャンパス・中央図書館にて一般公開します。

好太王は、4世紀末に活躍した高句麗第19代の国王。没後414年に、現在の中国吉林省に建てられた碑には、4世紀末の高句麗と倭国との戦いの記録が刻まれており、日本の中学校の教科書にも記載されているなど、貴重な史料となっています。



▲迫力の約6メートルの拓本を展示

明治大学図書館は好太王碑の拓本を2種類（剪装本4冊、整紙本4幅）所蔵していたものの、公開には至っておりませんでした。同研究所の研究成果として初めて一般に公開します。

また併せて、「明治大学所蔵好太王碑拓本と新出『集安高句麗碑』の碑文とその歴史的研究」と題した講演会を20日に開催します。

明治大学国際共同研究プロジェクト

明治大学所蔵好太王碑拓本と新出「集安高句麗碑」の碑文とその歴史的研究

■好太王碑拓本の一般公開

日時：3月19日（水）10時～16時の間 1時間ごと入れ替え制
20日（木）10時～14時の間 1時間ごと入れ替え制

会場：明治大学 駿河台キャンパス（東京都千代田区神田駿河台1-1）
中央図書館1階ギャラリー前集合（係員が誘導いたします）

■公開講演会

日時：3月20日（木）13時～17時

会場：明治大学 駿河台キャンパス（東京都千代田区神田駿河台1-1）
グローバルフロント1階 グローバルホール

◇取材のお問い合わせ

明治大学経営企画部広報課 澤内 電話：03-3296-4082